

団体名	国際大学						
事業名	多文化ふれあいコミュニティ事業						
実施期間	2018年5月12日(土)午後2時から6時						
場 所	国際大学 体育館 及び 野外特設会場						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	300	来場者に含む	30	来場者に含む	30	2700	3060名

### <実施内容>

南魚沼市との共催で「多文化ふれあいコミュニティ事業」として「インターナショナルフェスティバル2018」を開催しました。「インターナショナルフェスティバル」は毎年学生主導で開催している国際大学の一大イベントです。当日は晴天に恵まれ、2700名の来場者がありました。留学生、日本人学生、および地域の方が様々な国・地域のダンスや歌、料理を披露しました。

屋外には18の国・地域の屋台が並び、一皿100円から200円で販売しました。アフリカチームは、アフリカ諸国の料理10品を取り揃えて来場者を歓待しました。留学生は自国の民族衣装に身を包み、来場者と写真を撮ったり、会話を弾ませました。

南魚沼市のおにぎりブースでは、8チームのおにぎりセットを200セット用意し、全て配付・完食しました。体育館のステージでは地元の和太鼓と阿波踊りのチームがオープニングを盛り上げました。各国チームの歌や踊りに加え、合気道クラブやヨガクラブ、ベリーダンスクラブが演舞やダンスを披露しました。

また南魚沼市の「国際握飯祭」の表彰式も行いました。

最後に学生有志で結成された絆バンドが、「世界に一つの花」を日本語で歌った後、Wavin' Flagをタイ語やミャンマー後、アラビア語等、8か国語で歌い、ステージパフォーマンスのフィナーレを飾りました。

学生も来場者も、楽しい時間を共有し、ボーダーレスな雰囲気を楽しみました。

### <記録写真>



屋外ブースの様子



太平洋諸島チームのダンス



ステージパフォーマンスの最後を飾った絆バンドの歌。

### <参加者からのコメント>

ドランマン バティオノさん(ブルキナファソ) / Dramane Bationo (Burkina Faso) 門山祥子さん(日本) / Shoko Kadoyama (Japan)

IUJのインターナショナル・フェスティバルと聞くと、最初に食べ物を思い浮かべる。次に踊りや色とりどりの伝統的な衣装が思い浮かぶ。私たちはそれぞれの違いを料理やダンスやドレスに表現する。今年の私のハイライトは、地元の人々、卒業生、在校生、スタッフとおしゃべりして、様々な食べ物を楽しんだこと。それは生涯続く生き生きとした思い出になるだろう。またこのイベントの準備を通して、裏方作業も素晴らしいイベントであることに気付いた。異文化の相違点にもっと注意を払い、協力することを学びました。

野外のブースに沿ってできた真ん中の道は多くの来場者やIUJの学生さんで埋め尽くされ、歩いて進むのもやっとでした。人の多さと各国のユニークなブース展開に圧倒されていると、スリランカのブースの前で「こんにちは！」と元気に声を掛けられました。知っている日本語を上手に使いながら、スリランカの料理を紹介してくださいました。彼が持つオープンな心とコミュニケーションの巧みさで、こちらも身構えることなく接することができました。